

平成21年度
第3回岐阜県事業評価監視委員会 次第

日 時 平成21年6月17日(水)
13:30~16:00
場 所 岐阜建設労働者研修センター
サンレイラ岐阜 2F特別会議室

○ 開会の挨拶

○ 議 事

1 議事概要書署名委員の指名について

2 再評価実施箇所の詳細説明及び審議について
【市町村等事業】

河川事業 (資料1)

下水道事業 (資料2)

3 審議結果の取りまとめ

○ 閉会の挨拶

第3回岐阜県事業評価監視委員会委員名簿

- あらかや のりゆき
新家 則之 : NPO法人シルバーサービス理事長
- いわた きんじ
岩田 金治 : 岐阜県間税会連合会会長
- おおの えいじ
大野 栄治 : 名城大学教授 (都市情報学部)
- おり いくこ
小里 育湖 : 大野町商工会女性部部長
- かとう たかし
加藤 隆志 : 関商工会議所会頭
- くどみ さだゆき
久富 定幸 : 岐阜県農業協同組合中央会専務理事
- てらもと わかこ
寺本 和佳子 : 岐阜県弁護士会 弁護士
- ◎ やすだ たかし
安田 孝志 : 国立大学法人岐阜大学副学長
- わだ きよし
和田 清 : 独立行政法人国立高専機構岐阜工業高等専門学校教授
環境都市工学科学科長

【本日欠席の委員】

- かわしま みえこ
川島 三栄子 : 岐阜県芸術文化会議副会長
- さかもと ゆき
坂本 由貴 : 岐阜県コミュニティー診断士
- みしま きはちろう
三島 喜八郎 : 岐阜県森林組合連合会代表理事副会長兼専務

(五十音順 敬称略)

◎ : 委員長

平成20年4月22日(火)に開催された、平成20年度第1回岐阜県事業評価監視委員会において、岐阜県事業評価監視委員会設置要綱第3条の3に基づき委員の互選により選任

○ : 副委員長

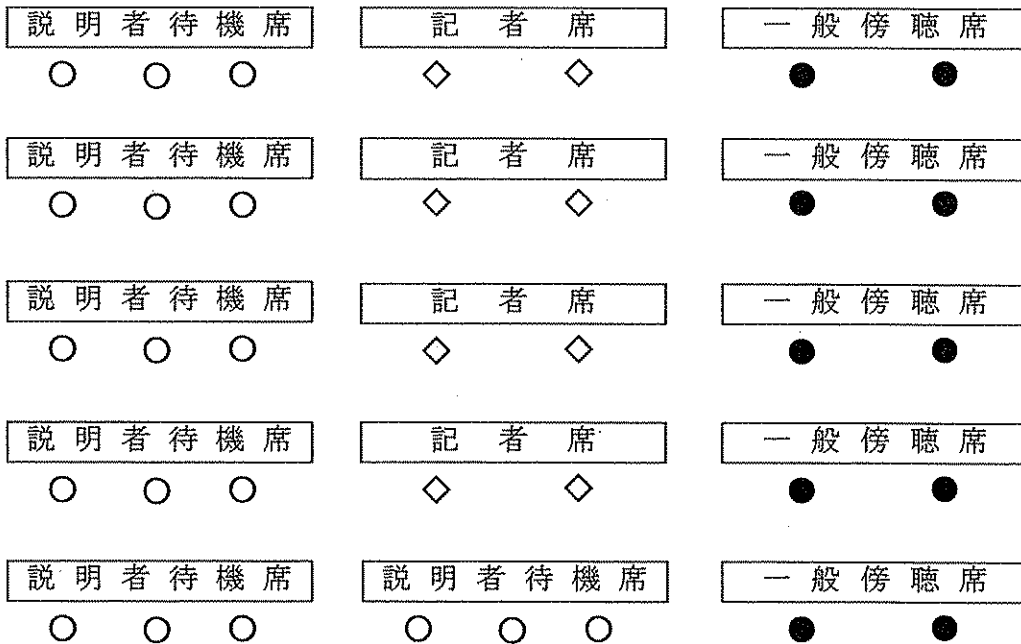
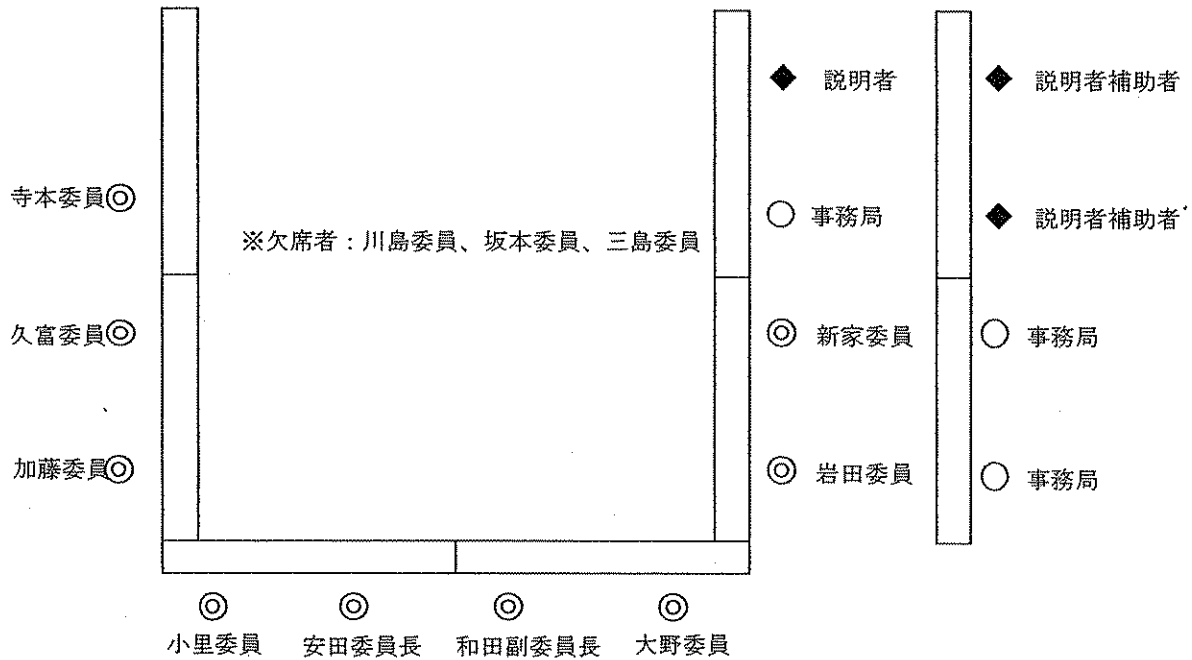
平成20年4月22日(火)に開催された、平成20年度第1回岐阜県事業評価監視委員会において、岐阜県事業評価監視委員会設置要綱第3条の3に基づき委員長の指名より選任

平成21年度第3回事業評価監視委員会 席表

平成21年6月17日(水) 13:30～
 岐阜建設労働者研修福祉センター
 サンレイラ岐阜 2F 特別会議室

<配席図>

スクリーン



○委員の配席は、正面向かって右から時計回りで「50音順」です。

平成21年度第3回岐阜県事業評価監視委員会

【河川課所管事業審議資料】

- 再評価対象箇所一覧表 1
- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
総合流域防災事業（^{としがわ}戸石川） 2
- 平成21年度 再評価実施箇所（附図）
総合防災整備事業（^{としがわ}戸石川） 3
- パワーポイント
総合防災整備事業（^{としがわ}戸石川） 4～8

平成21年度 再評価対象箇所一覧表 6月17日審議箇所

[岐阜市基盤整備部河川課]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要			全体事業数 (百万円)	実施済み額 (百万円)			進捗率 (%)			経過年数 (H21.3現在)	地域の意向	関連事業の 進捗状況	社会経済情 勢等の変化	環境との調 和への配慮 事項	事業費削減	費用対効 果分析	対応方針 (案)	特記 事項
						全体事業量	実施済事業量	事業 実施率		用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等									
	総合流域防災 事業	木曾川水系 摩用河川 戸石川	岐阜市	H17	H25	L = 1,897 m	L = 730 m	38%	2,000	1,080	54%	14	事業継続・早 期完了を強く 希望	なし	市街化の進 捗・流出増 加・ゲリラ豪雨等 の頻発	瀬・源の保 全・復元 覆土による 植生回復	掘削残土の 有効利用 盛土材の流 用土利用	2.7 4.0	継続					

上段:全体事業
下段:残事業

平成21年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 岐阜市河川課

○事業制度について	事業名	総合流域防災事業（準用河川：戸石川）	
	事業目的	流域（圏域）単位で水害対策とし土砂災害対策、ハード対策とソフト対策を一体的に実施し、豪雨災害に対し流域一体となった総合的な対策を推進する。 （一定計画により一定区間の浸水被害を未然に防止するため、河川改修を実施し国土の保全と民生の安定を図る）	
	採択基準	総事業費が概ね4億円以上24億円以内の準用河川に係る河川工事であって、氾濫被害が防止される区域内に60ha以上の農地、50戸以上の家屋又は5ha以上の宅地が存するもの。	
	概要（メニュー）	<ul style="list-style-type: none"> ・築堤工 ・掘削工 ・護岸工 ・樋管、橋梁等附帯構造物工 	
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目（B）	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋資産 ・家屋用品資産 ・事業所資産（償却・在庫資産） ・農漁家資産（償却・在庫資産） ・農作物資産（水田・畑） ・公共土木施設等
		その他項目	
	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費と維持管理費の合計 ・評価対象期間は整備期間+50年とする ・現在価値化に用いる割引率は4%（B及びC共通） ・維持管理項目は、毎年の維持管理費を現在価値化して積算 ・毎年の維持管理費は前年度までの累計投資事業費に維持管理比率0.5%を乗じた額 	
費用便益比の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比が1以上 		

平成21年度 再評価実施箇所(附図)

担当課(河川課)

番号	事業名 (河川名)			総合流域防災事業(戸石川)	
事業実施箇所	岐阜市打越字岩田地内 ～岐阜市椿洞字川東地内		事業主体	岐阜市	
採択年度	平成7年度	完了予定年度	平成25年度		
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	本河川は、昭和51年の集中豪雨災害をはじめ、平成2年、9年と、たびたび浸水被害を受けており、過去の浸水被害の要因が戸石川の流下能力不足にあることから、浸水被害を解消し、国土の保全と民生の安定を図るため、河川改修を実施するものである。				
事業概要	全流路延長2360mのうち、上土居打越線の折戸橋を起点とする全長1897mの区間を総合流域防災事業として整備している。 全体計画延長 L=1,897m 計画規模 1/5 主要工種 護岸工、河道掘削				
概要図	改修済み区間の状況		未改修区間の状況		
					
<p>【河川計画諸元表】 河川改修延長 L=1,897m 計画流量 Q=11~35m³/s 流域面積 A=2,808km² 勾配 I=1/50~1/500 計画規模 W=1/5</p>  <p>準用河川 戸石川 全体計画区間 L=1,897m</p> <p>山県市 H9.7.28 浸水面積・5.6ha 床上・14戸</p> <p>畜産センター 岐阜大学 常盤小学校 鳥羽川 伊自良川 岐阜市</p>					

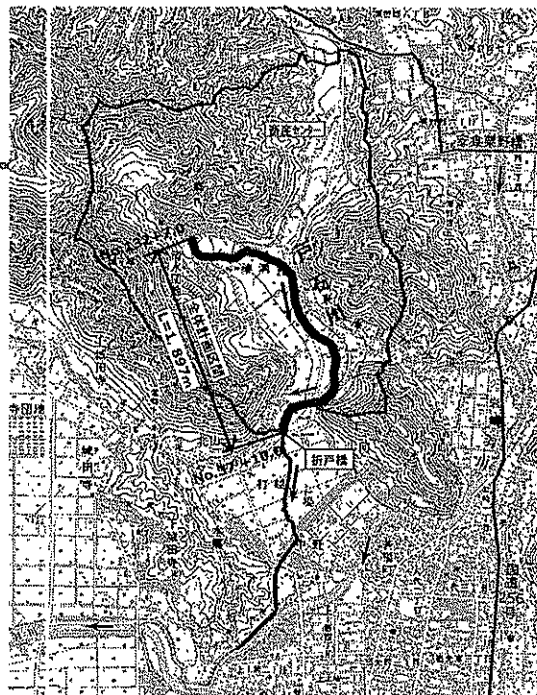


事業内容 位置図

流域面積; 2.81km²
計画流量; $Q=36\text{m}^3/\text{S}$
計画区間; $L=1,897\text{m}$

凡例

- ; 流域界
- ; 国道
- ; 県道



事業内容

事業目的・計画概要

〈事業の背景〉

- ・ 現況河川の流下能力不足を主要因とする
浸水被害

〈事業の目的〉

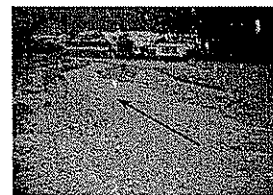
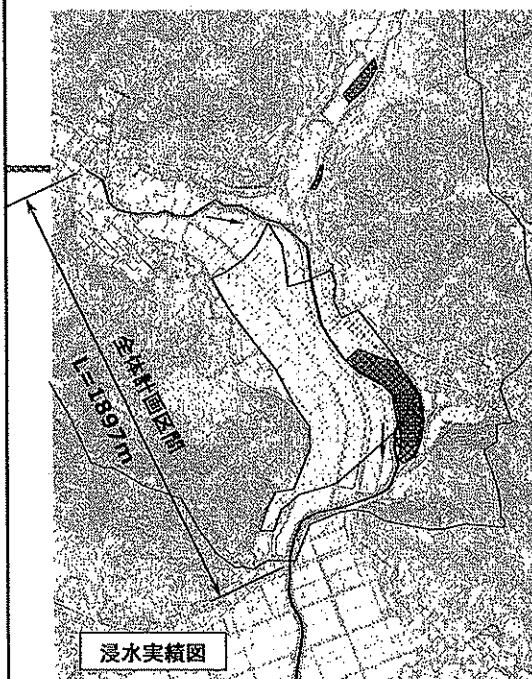
- ・ 浸水被害の解消

〈事業の主な項目〉

- ・ 河川改修; L=1, 897m
- ・ 道路橋; 9ヶ所、サイフォン; 1ヶ所

事業の必要性

近年における被害・社会情勢変化



平成9年7月28日 出水状況写真

	H2年	H9年	H16年
床上(戸)	—	—	—
床下(戸)	不明	14	4
浸水面積(ha)	23	5.6	3.5

凡 例	
	:平成2年浸水範囲
	:平成9年浸水範囲
	:平成16年浸水範囲

事業の必要性

費用対効果分析

本事業により得られる効果と要する費用の分析

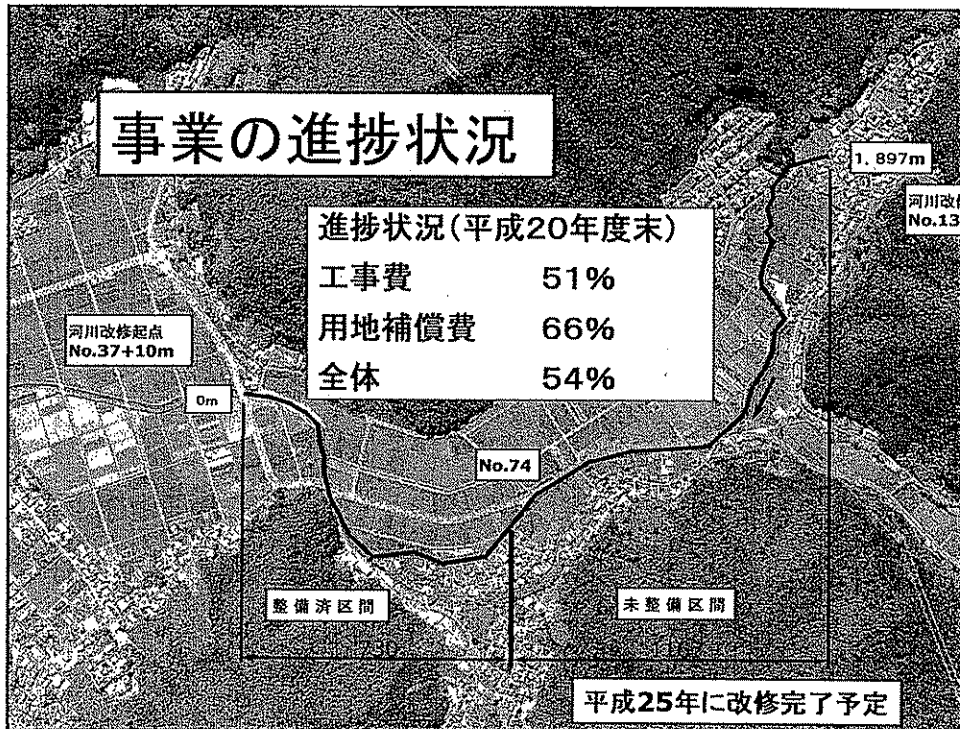
総便益【B】=本事業により得られる効果(軽減される被害額)

- ・家屋資産の被害軽減便益 効果全体の 17%
- ・事業所資産の被害軽減便益 効果全体の 10%
- ・その他の被害軽減便益 効果全体の 73%

投資的効果率【B/C】

$$B: \text{効果額} / C: \text{事業費} = 2.7$$

(1.0以上であり、事業費より得られる効果大きい。)



コスト縮減、河川環境の配慮

コスト縮減の方策

- ・建設発生材の再利用
- ・現地発生土の活用

河川環境の保全策

- ・瀬やふちの創出
- ・環境保全型ブロックの使用

評価結果

①事業の必要性に関する視点

- ・過去に洪水被害が発生し、発生その可能性がある
 - ・投資効果が高い(B/C \geq 1)
- ⇒ 事業の継続が妥当

②事業進捗見込みの視点

- ・家屋連たん区間が完了すれば工事進捗は順調に進む
 - ・地元は協力的である
- ⇒ 事業の継続が妥当

事業の継続が必要

③コスト縮減・代替案可能性の視点

- ・現計画が最も安価で適切な事業手法である
- ⇒ 事業の見直しを図る必要がない



ご清聴ありがとうございました

岐阜市基盤整備部河川課

平成21年度第3回岐阜県事業評価監視委員会

【下水道課所管事業審議資料】

○ 再評価対象箇所一覧表	…………… 1
○ 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について 公共下水道事業	…………… 2
○ 平成21年度 再評価実施箇所（附図）	
高山市特定環境保全公共下水道事業（ <small>とちお</small> 栢尾処理区）	…………… 3
羽島市公共下水道事業（ <small>はしま</small> 羽島処理区）	…………… 4
飛騨市公共下水道事業（ <small>ふるかわ</small> 古川処理区）	…………… 5
海津市公共下水道事業（ <small>ちゅうなんぶ</small> 中南部処理区）	…………… 6
○ パワーポイント	
高山市特定環境保全公共下水道事業（ <small>とちお</small> 栢尾処理区）	…………… 8～11
羽島市公共下水道事業（ <small>はしま</small> 羽島処理区）	…………… 12～15
飛騨市公共下水道事業（ <small>ふるかわ</small> 古川処理区）	…………… 16～19
海津市公共下水道事業（ <small>ちゅうなんぶ</small> 中南部処理区）	…………… 20～23

平成21年度 再評価対象箇所一覽表 6月17日審議箇所

[都市建築部 下水道課]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了 予定 年度	事業概要		全体事業費 (百万円)	実施済み額 (百万円)		進捗率 (%)		経過年数 (H20.3現在)	地元の意 向	関連事業 の進捗状 況	社会経済 情報等の 変化	環境との調 和への配 慮事項	事業費縮 減	費用対効 果分析 (係数等)	対応方針 (案)	特記事項
						全体事業量 (ha)	実施済事業量 (ha)		用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等									
	公共下水道事 業 (特定環境保 全)	栃尾処理区	高山市	H12	H27	48.7	33	2,943 17 2,926	2,350 17 2,333	79.9% 100.0% 79.7%	9	地域住民 の理解及 び協力が 得られて いる	特になし	平成20 年度に人 口プレー ムを変更 している。	神通川流 域計画に 準じて放 流水質を 定めている。	処理場 増設費用 1,062 百万円	1.13 (1.56)	継続			
	公共下水道事 業	羽島処理区	羽島市	H2	H60	2,025	745	84,532 1,418 83,114	40,786 1,418 39,368	48.2% 100.0% 47.4%	19	地域住民 の理解及 び協力が 得られて いる	特になし	平成19 年に計画 プログラム を変更 している。	笠原・リン に係る水 質環境指 標の類型 指定に対 応	1.51 (1.77)	継続				
	公共下水道事 業	古川処理区	飛騨市	H2	H25	378	350.5	14,976 104 14,272	12,399 104 12,295	86.2% 100.0% 86.1%	18	地域住民 の理解及 び協力が 得られて いる	特になし	平成19 年度に人 口プレー ムを変更 している。	特になし		1.33 (1.37)	継続			
	公共下水道事 業	中南部処理区	海津市	H2	H32	493	363	18,389 1,000 17,389	13,838 1,000 12,838	75.3% 100.0% 73.8%	19	地域住民 の理解及 び協力が 得られて いる	特になし	平成17 年度に計 画処理人 口を変更 している。	笠原・リン に係る水 質環境指 標の類型 指定に対 応		1.30 (1.40)	継続			

○事業制度について	事業名	公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業	
	事業目的	1. 都市の健全な発達及び公衆衛生の向上（便所の水洗化、悪臭の排除等の環境整備）に寄与し、あわせて公共用水域（伊勢湾等）の水質保全に資する。 2. 自然環境の保全または農山漁村における水質の保全に資する。	
	採択基準	・公共下水道：対象区域→主に市街地、規模→制限なし ・特定環境保全公共下水道：対象区域→市街化区域以外の区域、規模→1,000～10,000人。	
	概要 (メニュー)	・事業主体 市町村：公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業 ・対象処理水は汚水（生活雑排水、し尿、工場・事業場排水等）及び雨水。 ・管渠及び処理場の築造。	
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≪B≫	(1) 生活環境の改善効果 ○周辺環境の改善（＝下水道整備による悪水路(ドブ)の解消） ・生活排水等の流入により水質汚濁がある中小水路の覆蓋化（清掃費含む）費用 ○居住環境の改善（＝下水道整備による便所の水洗化） ・浄化槽の設置及び維持管理費用 (2) 公共用水域の水質保全効果 ○公共用水域の存在価値等のうち下水道の整備によって保全・回復される価値 (3) 浸水の防除効果 ○浸水被害の軽減効果（＝下水道整備で軽減される被害額） ただし、下水道事業で浸水対策を実施する場合に限る。
		その他項目	○処理場等の用地を公園等に活用できる効果 ○下水道管渠に光ファイバーを布設できる効果
	費用 ≪C≫ の算定	○下水道施設（処理場、ポンプ場、管渠等）にかかる建設費＋用地費＋改築費＋維持管理費	
費用便益費の基準	○B/Cの値として1.0以上が必要。 社会情勢の変化等により、1.0未満となった場合は、事業計画の見直しも含めて対応方針を決定する必要がある。 （新規事業採択の場合、1.0未満であると、採択は不可能） ※費用効果分析については、「下水道事業における費用効果分析マニュアル(案)平成18年11月」に準拠する		

平成21年度 再評価実施箇所 (附図)

番 号	事業名 (路線・河川名等)			高山市特定環境保全公共下水道事業 (栢尾処理区)											
事業実施箇所	高山市奥飛騨温泉郷地域		事業主体	高山市											
採択年度	平成12年度	完了予定年度	平成27年度												
再評価の実施基準	事業採択後10年が経過した時点で継続中の事業														
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全														
事業概要	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画面積：48.7ha</td> <td style="width: 50%;">処理施設</td> </tr> <tr> <td>目標年次：平成27年度</td> <td>名 称：栢尾浄化センター</td> </tr> <tr> <td>排除方式：分流式</td> <td>処理方式：嫌気好気ろ床法</td> </tr> <tr> <td>計画人口：4,530人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計画汚水量(日最大)：1,050m³/日</td> <td>計画放流水質：BOD15mg/L</td> </tr> </table>					計画面積：48.7ha	処理施設	目標年次：平成27年度	名 称：栢尾浄化センター	排除方式：分流式	処理方式：嫌気好気ろ床法	計画人口：4,530人		計画汚水量(日最大)：1,050m ³ /日	計画放流水質：BOD15mg/L
計画面積：48.7ha	処理施設														
目標年次：平成27年度	名 称：栢尾浄化センター														
排除方式：分流式	処理方式：嫌気好気ろ床法														
計画人口：4,530人															
計画汚水量(日最大)：1,050m ³ /日	計画放流水質：BOD15mg/L														
概要図	<div style="text-align: center;"> <p>高山市特定環境保全公共下水道事業 栢尾処理区</p> </div>														

平成21年度 再評価実施箇所 (附図)

番 号		事 業 名 (路線・河川名等)	羽島市公共下水道事業 (羽島処理区)																	
事業実施箇所	羽島市	事業主体	羽島市																	
採択年度	平成2年度	完了予定年度	平成60年度																	
再評価の実施基準	再評価実施後10年が経過した時点で継続中の事業																			
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全																			
事業概要	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> 計画面積：2,025ha 目標年次：平成60年度 排除方式：分流式 計画人口：61,030人 計画汚水量(日最大)：32,880m³/日 計画放流水質：BOD 15mg/L , T-N 10.1mg/L , T-P 1.5mg/L </td> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> 処理施設 名 称：羽島市浄化センター 処理方式：ステップ流入式多段硝化脱窒法 (凝集剤添加) +急速ろ過法 </td> </tr> </table>			計画面積：2,025ha 目標年次：平成60年度 排除方式：分流式 計画人口：61,030人 計画汚水量(日最大)：32,880m ³ /日 計画放流水質：BOD 15mg/L , T-N 10.1mg/L , T-P 1.5mg/L	処理施設 名 称：羽島市浄化センター 処理方式：ステップ流入式多段硝化脱窒法 (凝集剤添加) +急速ろ過法															
計画面積：2,025ha 目標年次：平成60年度 排除方式：分流式 計画人口：61,030人 計画汚水量(日最大)：32,880m ³ /日 計画放流水質：BOD 15mg/L , T-N 10.1mg/L , T-P 1.5mg/L	処理施設 名 称：羽島市浄化センター 処理方式：ステップ流入式多段硝化脱窒法 (凝集剤添加) +急速ろ過法																			
概要図	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">凡</th> <th style="width: 90%;">例</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▭</td> <td>全体計画区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▨</td> <td>既認可区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▩</td> <td>整備済区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">→</td> <td>汚水幹線</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▧</td> <td>羽島市浄化センター</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—C</td> <td>吐 口</td> </tr> </table> </td> <td colspan="2" style="border: none; text-align: center;"> </td> </tr> </table>			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">凡</th> <th style="width: 90%;">例</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▭</td> <td>全体計画区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▨</td> <td>既認可区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▩</td> <td>整備済区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">→</td> <td>汚水幹線</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▧</td> <td>羽島市浄化センター</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—C</td> <td>吐 口</td> </tr> </table>	凡	例	▭	全体計画区域	▨	既認可区域	▩	整備済区域	→	汚水幹線	▧	羽島市浄化センター	—C	吐 口		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">凡</th> <th style="width: 90%;">例</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▭</td> <td>全体計画区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▨</td> <td>既認可区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▩</td> <td>整備済区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">→</td> <td>汚水幹線</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▧</td> <td>羽島市浄化センター</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—C</td> <td>吐 口</td> </tr> </table>	凡	例	▭	全体計画区域	▨	既認可区域	▩	整備済区域	→	汚水幹線	▧	羽島市浄化センター	—C	吐 口						
凡	例																			
▭	全体計画区域																			
▨	既認可区域																			
▩	整備済区域																			
→	汚水幹線																			
▧	羽島市浄化センター																			
—C	吐 口																			

平成21年度 再評価実施箇所 (附図)

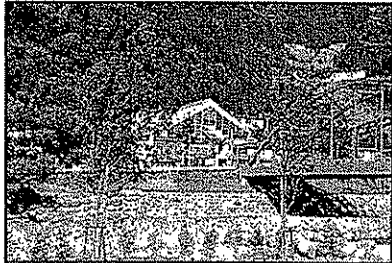
番 号		事業名 (路線・河川名等)	飛騨市公共下水道事業 (古川処理区)											
事業実施箇所	飛騨市古川町		事業主体	飛騨市										
採択年度	平成2年度	完了予定年度	平成25年度											
再評価の実施基準	再評価実施後10年が経過した時点で継続中の事業													
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全													
事業概要	<table border="0"> <tr> <td>計画面積：378ha</td> <td>処理施設</td> </tr> <tr> <td>目標年次：平成25年度</td> <td>名 称：古川浄化センター</td> </tr> <tr> <td>排除方式：分流式</td> <td>処理方式：オキシデーションディッチ法</td> </tr> <tr> <td>計画人口：13,140人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計画汚水量(日最大)：6,570m³/日</td> <td>計画放流水質：BOD15mg/L</td> </tr> </table>				計画面積：378ha	処理施設	目標年次：平成25年度	名 称：古川浄化センター	排除方式：分流式	処理方式：オキシデーションディッチ法	計画人口：13,140人		計画汚水量(日最大)：6,570m ³ /日	計画放流水質：BOD15mg/L
計画面積：378ha	処理施設													
目標年次：平成25年度	名 称：古川浄化センター													
排除方式：分流式	処理方式：オキシデーションディッチ法													
計画人口：13,140人														
計画汚水量(日最大)：6,570m ³ /日	計画放流水質：BOD15mg/L													
概要図	<p style="text-align: center;">飛騨市公共下水道事業 古川処理区</p>													

平成21年度 再評価実施箇所 (附図)

番 号	事業名 (路線・河川名等)			海津市公共下水道事業 (中南部処理区)															
事業実施箇所	海津市		事業主体	海津市															
採択年度	平成2年度	完了予定年度	平成32年度																
再評価の実施基準	再評価実施後10年が経過した時点で継続中の事業																		
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全																		
事業概要	<p>計画面積：493ha 目標年次：平成32年度 排除方式：分流式 計画人口：12,740人 計画汚水量(日最大)：7,100m³/日</p> <p>処理施設 名 称：南濃中南部浄化センター 処理方式：高度処理キチン・キトサンデイツ法 +凝集剤添加+急速ろ過法 計画放流水質：BOD15mg/L , T-N15mg/L , T-P1.5mg/L</p>																		
概要図	<table border="1" style="float: left; margin-right: 20px;"> <tr><th>凡</th><th>例</th></tr> <tr><td></td><td>全体計画区域</td></tr> <tr><td></td><td>既認可区域</td></tr> <tr><td></td><td>整備済区域</td></tr> <tr><td></td><td>汚水幹線</td></tr> <tr><td></td><td>浄化センター</td></tr> <tr><td></td><td>吐口</td></tr> </table> <p style="margin-left: 20px;"><u>南濃中南部浄化センター</u></p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">海津市公共下水道事業 中南部処理区</p>					凡	例		全体計画区域		既認可区域		整備済区域		汚水幹線		浄化センター		吐口
凡	例																		
	全体計画区域																		
	既認可区域																		
	整備済区域																		
	汚水幹線																		
	浄化センター																		
	吐口																		

平成21年度 事業再評価

高山市特定環境保全公共下水道事業 栢尾処理区



【栢尾アリーナ】
(右手前：宝橋)



【新穂高温泉】
(中尾地区)



【栢尾浄化センター】

事業目的

高山市は、平成17年3月に「住みよいまちは、いきよいまち」を基本理念とした第七次総合計画を策定し、安全で快適な暮らしを実感できる「住みよさ」のあるまちをめざして下水道事業を推進しています。

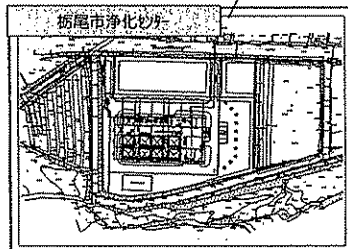
栢尾処理区は、奥飛騨温泉郷地域において平成12年度から事業を始め、平成18年に処理場を供用開始し、生活環境の向上、流域の水質保全を図るため面整備及び水洗化普及に鋭意努力しています。

事業概要

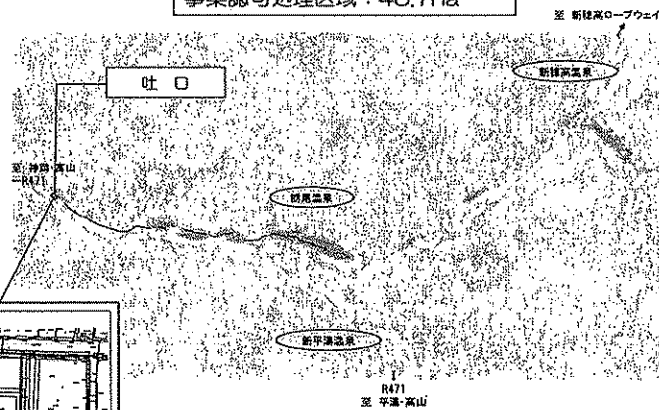
事業期間	平成12年度～平成27年度
整備期間	16年間（実績9年、計画7年）
全体処理区域面積	48.7 ha
全体計画処理人口	4,530 人
計画日最大汚水量	1,050 m ³ /日
管渠延長	16.4 km
処理方式	嫌気好気ろ床法
処理能力	1,150 m ³ /日(日最大)

事業計画図

凡	例
	全体計画区域
	既認可区域
	整備済区域
	汚水幹線
	栃尾浄化槽
	吐口



栃尾処理区
 全体計画処理区域：48.7ha
 事業認可処理区域：48.7ha



事業の進捗状況

整備 状況	面積	全体計画区域	48.7 ha
		整備済区域	33.0 ha
		整備率	67.8 %
	事業 費	全体事業費	2,943 百万円
		実施済事業費	2,350 百万円
		進捗率	79.9 %

項目別評価

項目	評価
事業費の推移	計画に対して順調に執行されている。
施設の供用状況	平成18年3月供用開始。供用開始後3年経過。
予定処理区域内の面整備状況	整備率 約68% (平成20年度末)
供用開始区域の接続状況	水洗化率 約66% (平成20年度末)
地元情勢の変化の有無	議会、地域住民の理解及び協力が得られている。
社会経済状況の変化の有無	平成20年度に人口フレーム変更。
自然環境条件の変化の有無	特に大きな変化はなし。
全体計画の変更の有無	平成20年度に基本計画を変更し、人口フレームや原単位の見直しを行った。

費用対効果分析

■事業の効果



周辺環境改善効果



住居環境の改善効果



公共用水域の水質保全効果

効果全体の50%

効果全体の49%

効果全体の 1%

■投資的效果率

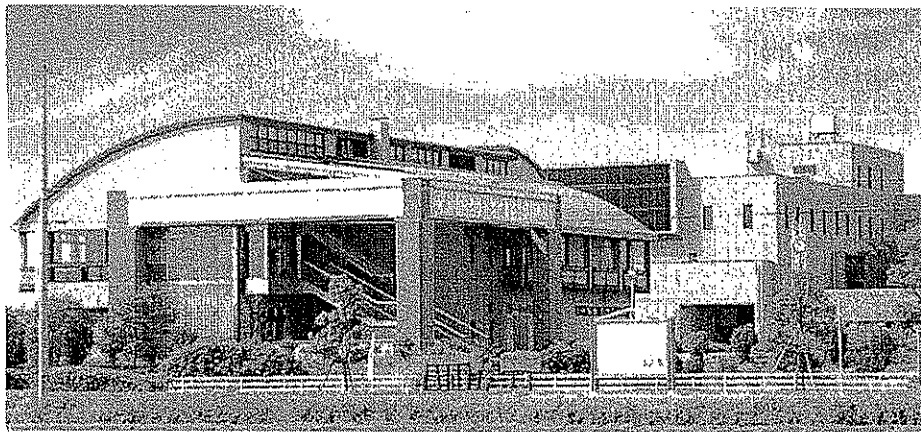
効果額 / 事業費 = 1.13

今後の対応方針

■現在、水洗化及び面整備を順調に進めております。

■今後は、平成27年度の事業完了に向け、事業を継続する必要があると考えております。

平成21年度 事業再評価
羽島市公共下水道事業 羽島処理区



【羽島市浄化センター】

事業目的

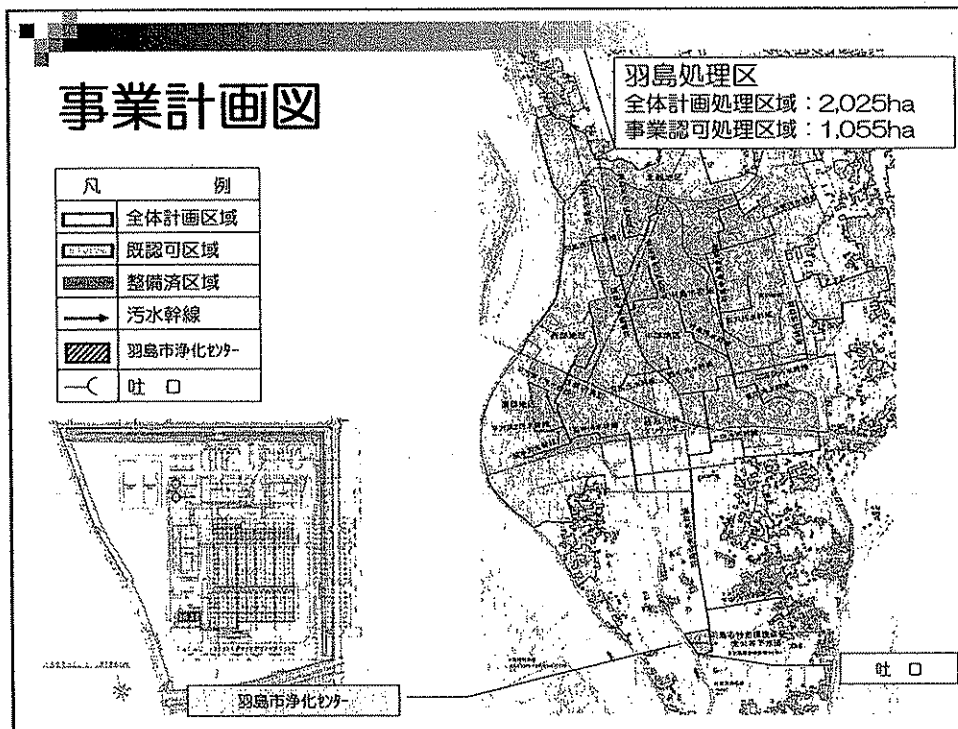
羽島市では、「公共用水域に於ける水質保全」「生活環境整備の向上」を目的とし、平成2年度より公共下水道事業を実施しています。

現在は、羽島市中心部の市街化区域と特定環境保全区域の整備が完了しており、残りの市街化区域およびその周辺について整備区域の拡大に努めています。

事業概要

事業期間	平成2年度～平成60年度
整備期間	59年間（実績19年、計画40年）
全体処理区域面積	2,025 ha
全体計画処理人口	61,030 人
計画日最大汚水量	32,880 m ³ /日（全体計画）
管渠延長	548 Km（全体計画）
処理方式	ステップ流入式多段硝化脱窒法（凝集剤添加）＋急速ろ過法
処理能力	33,000 m ³ /日（日最大）

事業計画図



事業の進捗状況（平成20年度末）

整備 状況	面積	全体計画区域	2,025 ha
		整備済区域	745 ha
		整備率	36.8 %
	事業 費	全体事業費	84,532 百万円
		実施済事業費	40,786 百万円
		進捗率	48.2 %

項目別評価

項目	評価
事業費の推移	計画に対して順調に執行されている。
施設の供用状況	平成12年供用開始。供用開始後9年経過。
予定処理区域内の面整備状況	整備率 約36.8%（平成20年度末）
供用開始区域の接続状況	水洗化率 約59%（平成20年度末）
地元情勢の変化の有無	議会、地域住民の理解及び協力が得られている。
社会経済状況の変化の有無	平成19年に計画フレーム変更。
自然環境条件の変化の有無	大きな変化は生じていない。
全体計画の変更の有無	平成19年度に“木曾川及び長良川流域別下水道整備総合計画”の見直しに伴いに変更した。

費用対効果分析

■事業の効果



周辺環境の改善効果	効果全体の68%
住居環境の改善効果	効果全体の21%
公共用水域の水質保全効果	効果全体の 7%
高度処理事業の効果	効果全体の 4%

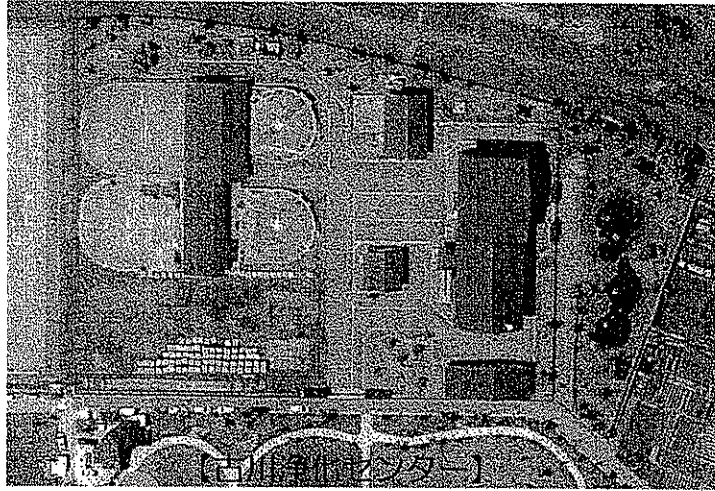
■投資的效果率

$$\text{効果額} / \text{事業費} = 1.51$$

今後の対応方針

- 現在、平成37年度の市街化区域整備完了に向け、水洗化及び面整備を進めております。
- 今後は、平成60年度の事業完了に向け、事業を継続する必要があると考えております。

平成21年度 事業再評価 飛騨市公共下水道事業 古川処理区



事業目的

飛騨市総合計画の施策のひとつとして「豊かな自然と調和した安全・快適な環境のまちづくり」という目標を掲げ、住民の生活環境改善と自然環境の保全の両立に努めています。

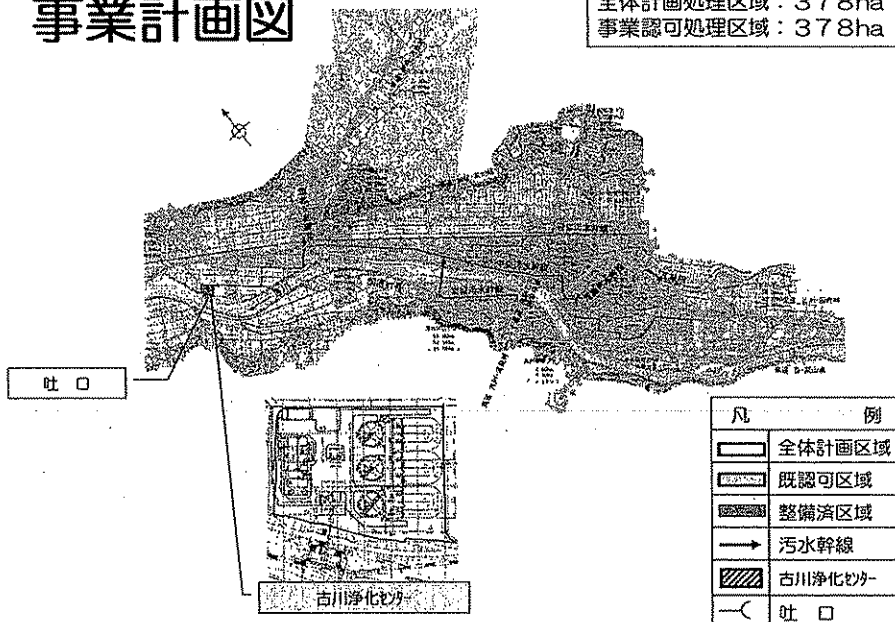
その一環として、平成2年度より古川処理区の公共下水道事業に着手し、平成25年の事業完了に向け現在整備区域の拡大に努めています。

事業概要

事業期間	平成2年度～平成25年度
整備期間	24年間（実績19年、計画5年）
全体処理区域面積	378ha
全体計画処理人口	13,140人
計画日最大汚水量	6,570m ³ /日
管渠延長	108km
処理方式	オキシデーションディッチ法
処理能力	6,600m ³ /日(日最大)

事業計画図

古川処理区
 全体計画処理区域：378ha
 事業認可処理区域：378ha



事業の進捗状況（平成20年度末）

整備 状況	面積	全体計画区域	378ha
		整備済区域	350.5ha
		整備率	92.7%
	事業費	全体事業費	14,376百万円
		実施済事業費	12,399百万円
		進捗率	86.2%

項目別評価

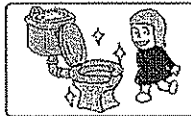
項目	評価
事業費の推移	計画に対して順調に執行されている。
施設の供用状況	平成8年3月供用開始。供用開始後12年経過。
予定処理区域内の面整備状況	整備率 約93%（平成20年度末）
供用開始区域の接続状況	水洗化率 約74%（平成20年度末）
地元情勢の変化の有無	議会、地域住民の理解及び協力が得られている。
社会経済状況の変化の有無	平成19年度に人口フレーム変更。
自然環境条件の変化の有無	特に大きな変化はなし。
全体計画の変更の有無	平成19年度に基本計画区域を変更。

費用対効果分析

■事業の効果



周辺環境改善効果
住居環境の改善効果



効果全体の66%
効果全体の34%

■投資的效果率

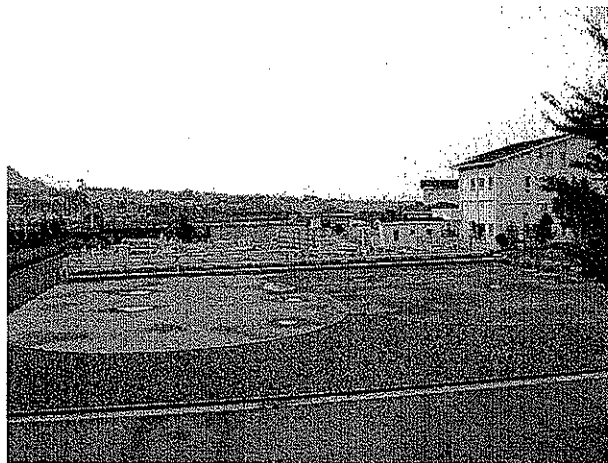
効果額/事業費 = 1.33

今後の対応方針

■現在、整備完了に向け、水洗化及び面整備を順調に進めております。

今後は、平成25年度の事業完了に向け、事業を継続する必要があると考えております。

1
平成21年度 事業再評価
海津市公共下水道事業 中南部処理区



【南濃中南部浄化センター】

2
事業目的

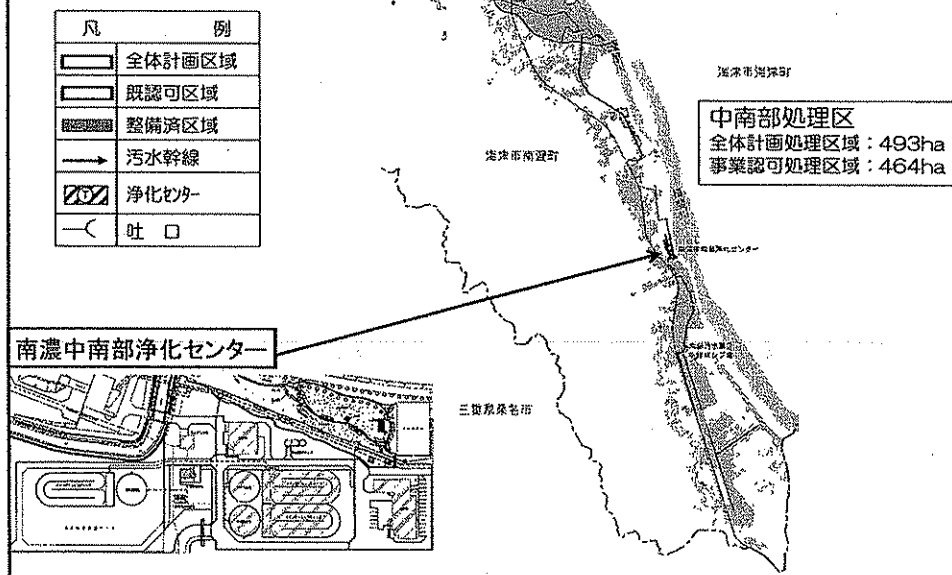
海津市では、南濃町の中部地区、南部地区を対象とした中南部処理区について、「公共用水域の水質保全」、「生活環境の向上」を目的とし、平成2年度より公共下水道事業を実施しています。

尚、当該処理区においては、平成32年度の完成に向け、面整備、処理場増設、水洗化普及に鋭意努力し続けています。

事業概要

事業期間	平成2年度～平成32年度
整備期間	31年間(実績19年、計画12年)
全体処理区域面積	493 ha
全体計画処理人口	12,740 人
計画日最大汚水量	7,100 m ³ /日
管渠延長	約136 km
処理方式	高度処理OD法+凝集剤添加+急速ろ過法
処理能力	7,150 m ³ /日(日最大)

事業計画図



事業の進捗状況（平成20年度末）

整備 状況	面積	全体計画区域	493 ha
		整備済区域	363 ha
		整備率	73.6 %
	事業費	全体事業費	18,389百万円
		実施済事業費	13,883百万円
		進捗率	75.5 %

項目別評価

項目	評価
事業費の推移	計画に対して順調に執行されている。
施設の供用状況	平成6年10月供用開始。供用開始後14年経過。
予定処理区域内の面整備状況	整備率 約73.6%（平成20年度末）
供用開始区域の接続状況	水洗化率 約62.6%（平成20年度末）
地元情勢の変化の有無	議会、地域住民の理解及び協力が得られている。
社会経済状況の変化の有無	平成17年度に計画処理人口を変更。
自然環境条件の変化の有無	特に大きな変化はなし。
全体計画の変更の有無	平成17年度に全体計画を見直し、計画処理人口及び計画汚水量が減少した。

費用対効果分析

■事業の効果



周辺環境の改善効果

効果全体の65%

住居環境の改善効果

効果全体の32%

公共用水域の水質保全効果

効果全体の 3%

■投資的效果率

効果額／事業費 = 1.30

今後の対応方針

■現在、面整備、水洗化及び浄化センターの整備は順調に進んでいます。

■今後は、平成32年の事業完了に向け、事業を継続したいと考えています。